

気持ち一つに 「成長できた」

バスケット準V
星槎国際

○バスケットボールは注目の十勝対決で最終レトリオドに逆転し、帯農に1点

差で競り勝った星槎国際が、1勝1敗で2年連続の道大会へ駒を進めた。

アクシデントにも動じなかった。唯一の競技経験者で、第1レトリオド(P)の全得点を挙げたエース若栢祐輔(2年)が試合途中で西定がつって退場。一時は10点以上差を広げられたが、「エースが抜けたことで初めてチームの気持ち一つになれた」(粟田雄樹主将12年)。



【バスケットボール・星槎国際―帯農】星槎国際の若栢祐輔がDFをかわしてゴールを狙う。けがを抱えながらも復活し、チームの要として活躍した

立ち、若栢以外のほぼ全員がサッカー部出身という足を生かした速攻で奮闘し

た。後半にコートへ戻った若栢が、試合終了の分前に決めた逆転ゴールも全員で守り切った。「この試合を通して成長できた」(粟田主将)と自信を深めたチームは道大会での初勝利を目指す。

▽【男子】(バスケットボール)▽リーグ戦



バスケットボール準優勝の星槎国際

日	高	星槎国際	日	高	星槎国際
21	48	40	14	45	36
6			9		
4			10		
17			12		
10			2		
6			8		
6			4		
22					
帯					
農					

▼順位①白高②勝③星槎国際①勝①敗③帯農②敗